

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(収益的収入及び支出)				
所管課		庶務課	介護老人保健施設さんとおびあ様原	宇陀市介護老人保健施設事業特別会計			
事業の目的	・要介護高齢者の自立を支援し、その家庭生活への復帰を目指すためのリハビリ機能を備えた施設として、平成11年に開設。 ・利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を図り総合的に援助を行う。 ・市総合計画後期基本計画における市民が安心して暮らせるまちづくりのため、介護老人保健施設の役割を果たすとともに、介護・福祉・医療の各機関と連携し、事業の実現を目指す。				区分	No.	区分名
					款		
					項		
					目		
					細目		
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	・入所定員 100人 ・通所定員 25人 ・年間入所予定者数 35,818人、1日平均 98.1人 ・ " 通所予定者数 4,758人、1日平均 19.5人 ・収入 528,000千円、対前年度 1.5%増 (内、長期前受金戻入益 4,600千円) ・支出 572,000千円、対前年度10.0%増 (内、特別損失 41,500千円(退職給付・賞与引当金)) ※()内は、新会計基準へ移行に伴う経過措置。			財源の内訳 (単位:千円)			
	・平成24年度決算状況 ・年間入所者数 34,501人、1日平均 94.5人 ・年間通所者数 4,190人、1日平均 17.2人 ・収益的収入 496,876千円 ・収益的支出 501,981千円 差引 △ 5,105千円 ・平成25年度経過 入所者数は前年度と比較増加しているが、通所者数は伸び悩んでいる。収益は、在宅復帰強化型や入所率が貢献し上半期決算では前年度を上回る。支出は前年度をわずかに下回っている。下半期においてもこの傾向を維持し、健全経営を目指す。			介護報酬 444,800 利用料 69,100 国費 県費 繰入金 2,136 事業外収益等 14,464 特別損失 41,500 H26予算額 A 572,000 H25当初予算額 B 520,000 H25現計予算額 520,000 増減額 A-B 52,000			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 収益的収入 ・2,136千円(児童手当一般会計補助金)		
決算額又は決算見込額(千円)		501,981	502,500				
従事職員数【人工】		/					
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)		501,981	502,500				
活動指標名		利用者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		38,691	単位	人		38,700	単位
単位当たりコスト(円)		12,974		12,984			
事業の目標	・宇陀市唯一の介護老人保健施設として、質の高い介護サービスを提供していく。 ・人件費率が高く経営は厳しい状況にある。経費の節減を更に進める。				備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(資本的収入及び支出)			
所管課		庶務課	介護老人保健施設さんとぴあ榛原		宇陀市介護老人保健施設事業特別会計	
事業の目的	・施設・設備を良好な状態で維持し、施設介護サービスを安定して提供する。 ・企業債償還を安定して行うため、減債積立を行う。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
細目						
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例					
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち					
H26年度事業の概要	・資本的収入 10千円 ・資本的支出 52,000千円 (前年度同額) ・事業内容(支出) ・器具及び備品更新等 2,150千円 ・企業債償還金 49,850千円 ・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。				財源の内訳 (単位:千円)	
	・平成24年度決算状況 ・資本的収入 0千円 ・資本的支出 52,086千円 ・事業内容 ・通所送迎車 1台3,757千円、企業債元金償還48,329千円 ・企業債現在高 853,683千円(平成25年3月) ・企業債償還最終年 平成40年度 ・平成25年度経過 ・資本的収入 200千円 ・資本的支出 50,950千円 ・事業内容 備品購入及び企業債元金償還				分担金	
使用料						
国費						
県費						
市債						
その他						
一般財源					52,000	
H26予算額	A 52,000					
H25当初予算額	B 52,000					
H25現計予算額	52,000					
増減額	A-B					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)			52,086	50,950		
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)			52,086	50,950		
活動指標名			利用者数			
活動指標の算式			—			
活動指標の実績			38,691 単位 人	38,700 単位 人		
単位当たりコスト(円)			1,346	1,316		
事業の目標	・設備については、耐用年数が経過したものから、順次計画的に入れ替えていく。但し、保守点検や修繕等で延命が図れるものについては、状況を見て判断する。 ・起債は計画的に償還していく。					備考